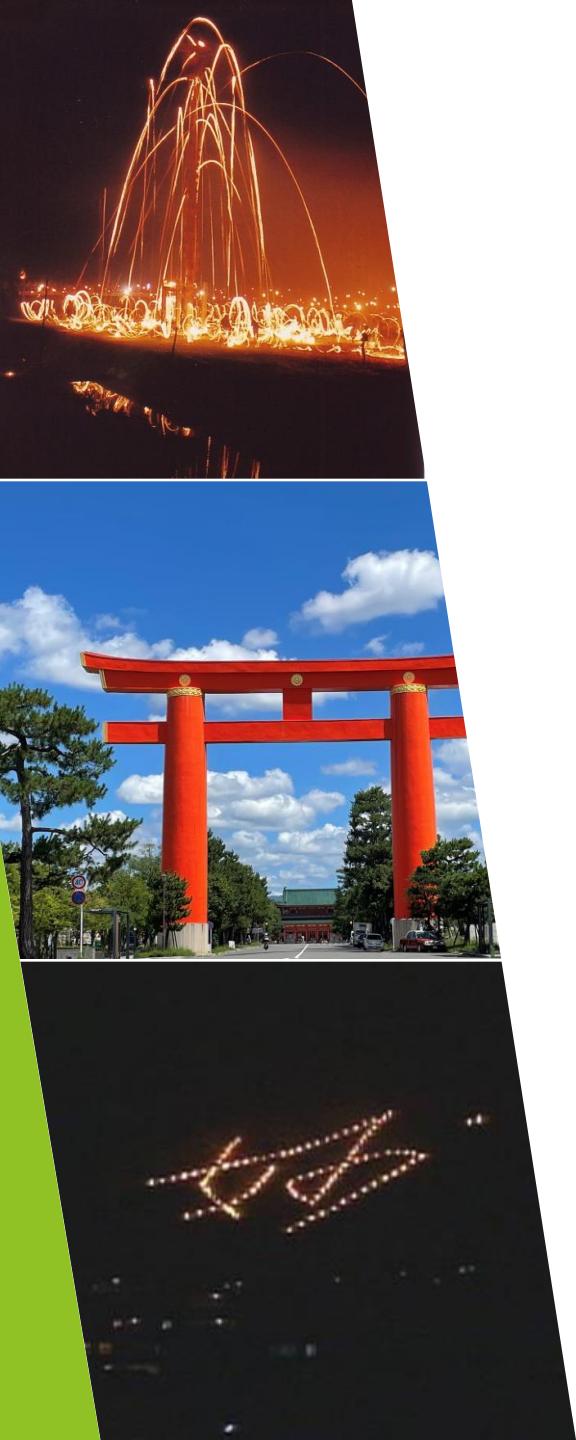




左京区の健康課題と 事業取組について

令和3年度左京区地域保健推進協議会資料

資料 2

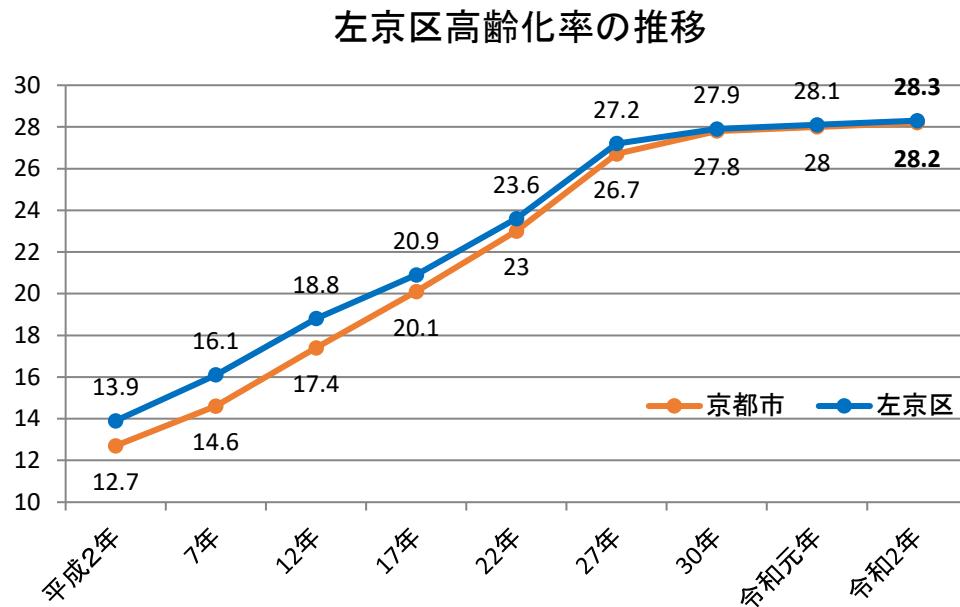


左京区の概況

- ▶ 京都市の東北部に位置し、南北に長い約247km²に及ぶ区域には、北部の山間地域から南部の市街地まで多くの個性豊かな地域があり、8万5千世帯、16万5千人の区民が暮らしている。
- ▶ 区内には、京都市美術館、ロームシアター京都、みやこめつせ、京都コンサートホールなどの文化施設や、世界遺産の下鴨神社、銀閣寺をはじめとする有名な寺社仏閣、史跡等も数多くある。
- ▶ 区内には6大学があり、全市の中でも20歳から24歳の人口割合が多いことから（令和2年10月推計），大学のまち左京と言われる。特に南部は学生が多い。
- ▶ 外国人住民基本台帳人口は7,067人（令和3年4月1日現在）で、全市のなかで2番目に多く、様々な国の出身者が居住している。（京都市統計ポータル）

左京区の高齢化の現状

- ▶ 令和2年の左京区の高齢化率は28.3%で全区役所・支所中6番目に高く、年々上昇傾向にある。
平成27年は65歳以上人口のうち75歳以上人口（後期高齢者）の占める割合が49.8%であったが、令和2年では53.8%（全区役所・支所中6番目に高い）と増加している。
- ▶ 一人暮らしの高齢者の数が年々上昇傾向にある。
- ▶ 今後、認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の増加が見込まれ、要支援・要介護出現率の上昇が予想される。



健康長寿推進課の業務

健康づくり・感染症・ひきこもり支援

▶ がん検診

肺がん検診は、月4回実施。（第1・2・第4水曜日の午前、第3水曜日の午後）*今年度は集団健診は中止。

大腸がん検診は、週2回受付（水・金の午前中）。*指定医療機関でも受け付けている。

乳がん検診及び胃がん検診は、決められた時期に区役所に検診車が配車され実施。指定医療機関でも実施している。

▶ 集団健康教室・健康づくり出前教室

▶ 食育セミナー

▶ 成人・妊婦歯科相談

対象は市内在住の妊産婦及び、18歳以上の方。65歳以上の方には、口腔機能相談も行っている。

▶ お口からはじめる生活習慣病予防教室

▶ 感染症に関する業務

感染性胃腸炎、インフルエンザ等の集団発生時の調査・指導等

▶ ウィルス性肝炎に関する業務

B・C肝炎医療費助成の申請受付、肝がん・重度肝硬変入院医療に対する医療費助成について、ウィルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業

▶ 結核に関する相談・結核検診

▶ 海外渡航など大人の予防接種の相談

▶ 原爆被爆者に対する援護

▶ 健康に関するアスベストの相談

▶ ひきこもり支援

左京区における健康課題（がん検診）

- ▶ 令和2年度左京区がん検診受診率は、市平均と同様に前年度より低下している。特に肺がん検診、乳がん検診は大きく低下しており、全市区中、1、2番目に低い。
- ▶ 主要死因は悪性新生物が3割近くで第1位であるにも関わらず、がん検診の受診率は低い。新型コロナウイルス感染予防対策をとり、安心して受診行動をおこせるような環境を整える必要がある。
- ▶ 肺がん検診受診率は大きく低下している。集団検診が中止となり併設の肺がん検診の機会がなくなったため、令和3年度から、左京区役所内での胸部検診回数を月2回から4回に増やし、午前に加え午後の検診日を設けることとした。受診者数を増やすために、さらに周知が必要である。

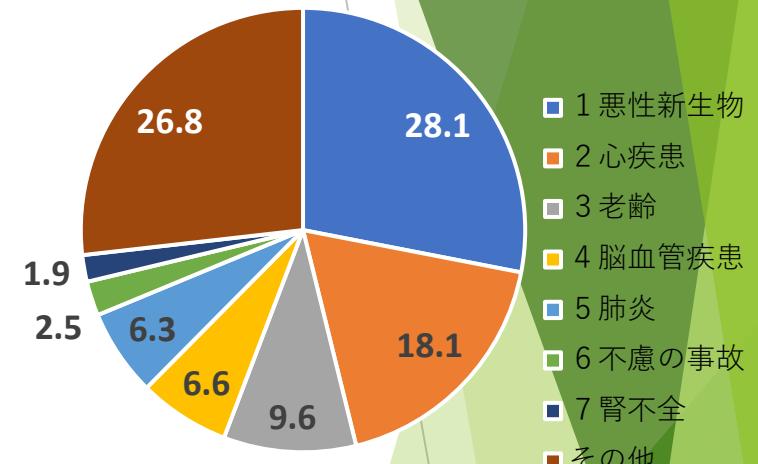
グラフ (がん検診関連)

令和2年度がん検診実績(%):()は前年度値	市平均	左京	ワースト順位
胃がん	1.7(2.6)	1.7(2.3)	4(2)
胃がんリスク層別化(ピロリ菌抗体検査等)	1.1(2.2)	1.1(3.1)	6(10)
肺がん	2.1(6.9)	1.6(5.5)	1(1)
大腸がん	4.2(5.5)	5.1(6.1)	10(10)
前立腺がん	3.9(4.4)	7.2(6.1)	11(9)
子宮頸がん	9.7(10.2)	8.4(9.2)	5(4)
乳がん	8.3(10.8)	6.7(9.8)	2(3)

標準化死亡比、主要死因・性・行政区別（平成25年～29年）人口動態保健所・
市区町村別統計

	死亡総数		胃がん		大腸がん		肝臓がん		肺がん		脳内出血	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全国	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
京都市	95.5	96.1	98.4	106.2	98.2	107.7	109.4	113.4	106.2	116.4	88.9	93.1
左京区	87.7	90.8	83.9	103.2	101.1	111.0	92.1	108.3	91.7	99.0	91.8	110.2

主要死因（左京区・令和元年度）



左京区における健康課題（健康づくり）

- ▶ 令和2年度の健康づくり事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で縮小や休止となった事業もあったが、感染対策を行いながらの開催や、動画配信に形態を変更することで、健康づくりの普及啓発活動を継続した。
- ▶ 前年度（令和元年度）の左京区の健康課題であった高血圧予備軍やがん検診受診率に着目して、健康講座や健康フェスタを実施した。令和3年度は糖尿病に関連した健康講座を開催する予定である。
- ▶ 過去の実施事業をみると、全般的に健康づくり事業の参加者は60歳以上が9割で、性別では女性が多い。
- ▶ 大学生等の若者世代や働き・子育て世代に対して、健康づくりの意識を高める働きかけが必要である。
- ▶ 世代ごとの健康課題に対する取組を他機関、他部署と連携し、広く周知する必要がある。

→令和3年度は、大学生を対象とした健康づくり支援事業を実施

左京区の健康づくりの取組

「左京さくらちゃん体操」
市民ボランティアである健康づくり
センター『にっこり元気左ポー
ターズ』が、保健福祉センターとと
もに、健康運動指導士の協力のもと
考案したオリジナル体操。



「左京健康講座 2021」

左京・健幸なまちづくりプロジェクト 左京健康講座 2021

コロナ禍だからこそ!

医師による講義 & ラジオ体操実演

簡便かつ最強のステイホーム運動手段!

＼ラジオ体操のススメ／

講師 木村 智紀 先生
京都市立病院 糖尿病代謝内科医
日本糖尿病学会専門医 医学博士

オンライン動画配信&DVD貸出しにより
令和3年10月15日(金)から
視聴可能!

生活習慣病予防やフレイル予防のために
ラジオ体操をしてみませんか?体操の効果に
ついて医師のお話や、体操の実演もあります。
コロナ禍でも簡単にご自宅でできますので、
関心のある方は是非ご視聴ください。

医師からの
アドバイスも
収録!

無料でご利用
いただけます!



第5回左京・健康なまちづくりコンテスト テーマ「左京健康川柳」

- 健康づくりの川柳を募集
テーマ 一般の部: 「仲間づくりと健康」
子どもの部: 設定なし
- 応募数
(応募期間: 令和3年4月27日~6月30日)
応募者数: 239名
応募作品数: 529作品 (過去最多)
最少年齢: 6歳
最高年齢: 99歳

大学生を対象とした健康づくり支援事業

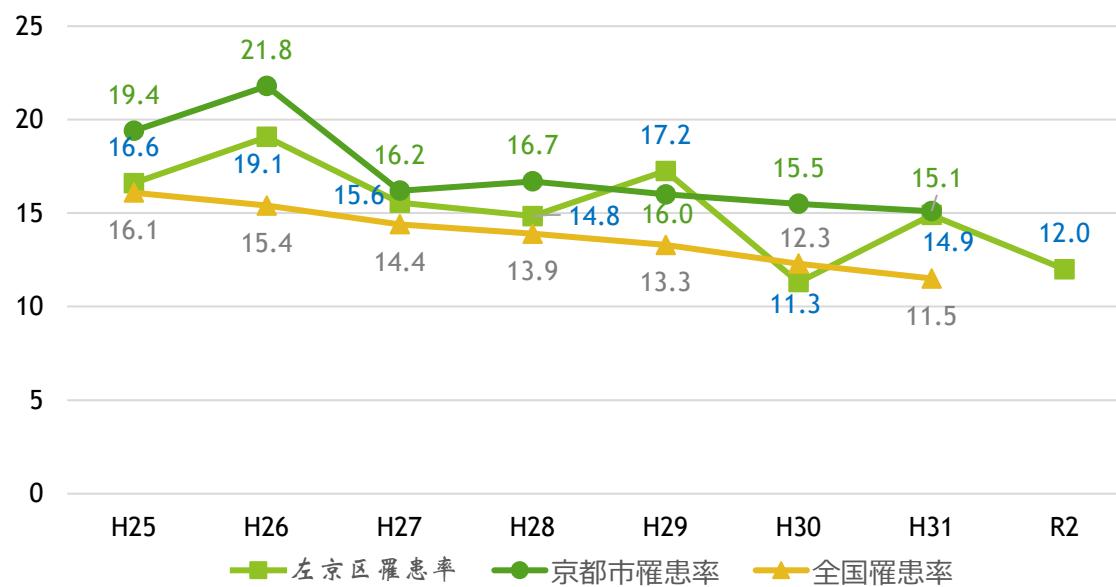
- 大学生が同世代の健康課題に取り組み、
共感と行動変容を促すことで、若い世代からの
健康づくりを目指す
- 主催：左京区役所
京都大学医学部人間健康科学科
先端看護科学コース4回生
- 内容
 - (1)運動不足、(2)アルコールハラスメント
 - (3)セーフティでない性交渉
 - (4)性感染症
- 方法：テーマに沿った講演内容を収録し、
左京区役所ホームページで動画配信
- 配信期間：令和3年8月31日午後3時
～令和4年3月31日午後5時



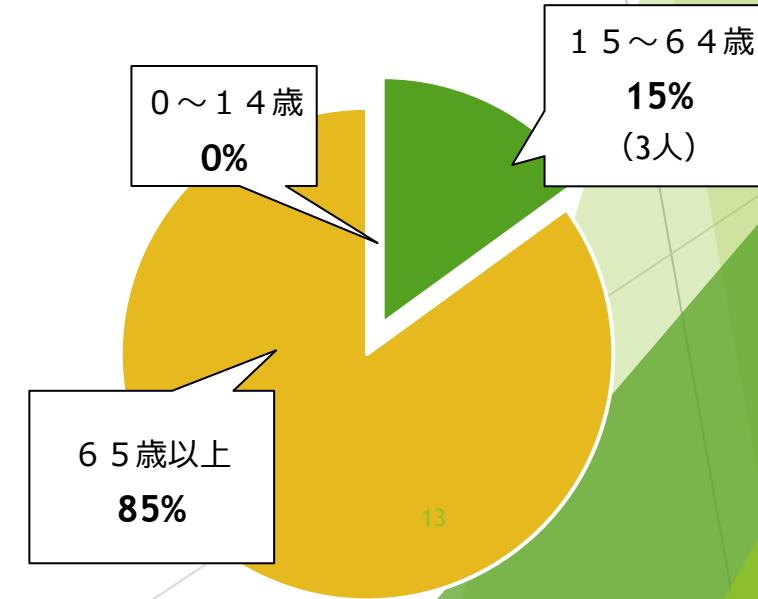
左京区における健康課題（感染症）

- ▶ 結核罹患率について、京都市・左京区ともに全国よりも高い傾向にあるが、年によって増減しながら徐々に減少には転じている。年齢別罹患率では、65歳以上が8割以上を占めている。
- ▶ 高齢者は、老化による免疫力の低下のため発病しやすいが呼吸器症状が現れないことも多く、結核の発見の遅れにつながりやすい。そのため高齢者にかかる人への普及啓発が大切である。（高齢者施設など）

【結核罹患率の推移】

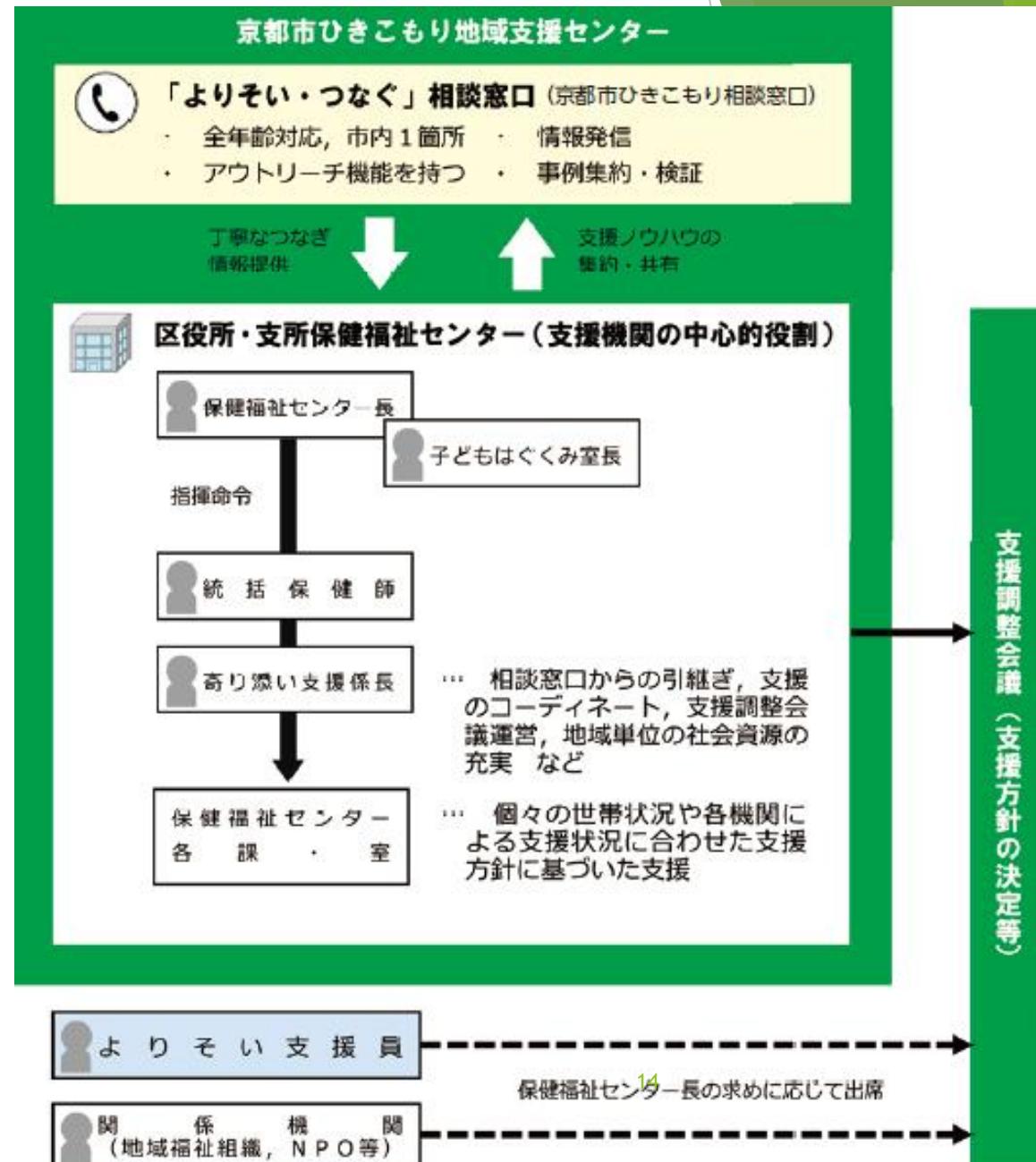


【令和2年 結核発生届年齢別罹患率】



京都市のひきこもり支援

- ▶ 京都市のひきこもり支援では「よりそい・つなぐ」相談窓口と区役所・支所保健福祉センターで「ひきこもり地域支援センター」を構成している。
- ▶ 支援の入口として、全年齢型の窓口である「よりそい・つなぐ」相談窓口でひきこもりに関する相談を受け止め必要な支援に繋ぐ。
- ▶ 連携が必要な場合は、保健福祉センターで支援方針や役割分担を考えながら支援にあたる。



障害保健福祉課の業務

精神保健福祉

- ▶ 精神障害者保健福祉手帳の交付
- ▶ 自立支援医療（精神通院）の支給
- ▶ 精神保健福祉相談及び訪問指導
- ▶ 地域生活安定化支援事業

精神障害のある方の社会復帰、自立を進めるため、個別相談を行っている。（予約制）

- ▶ 家族懇談会

精神障害のある方の家族が病気についての知識や再発防止、家族の役割について学習している。

- ▶ 難病対策事業
- ▶ 特定医療費助成

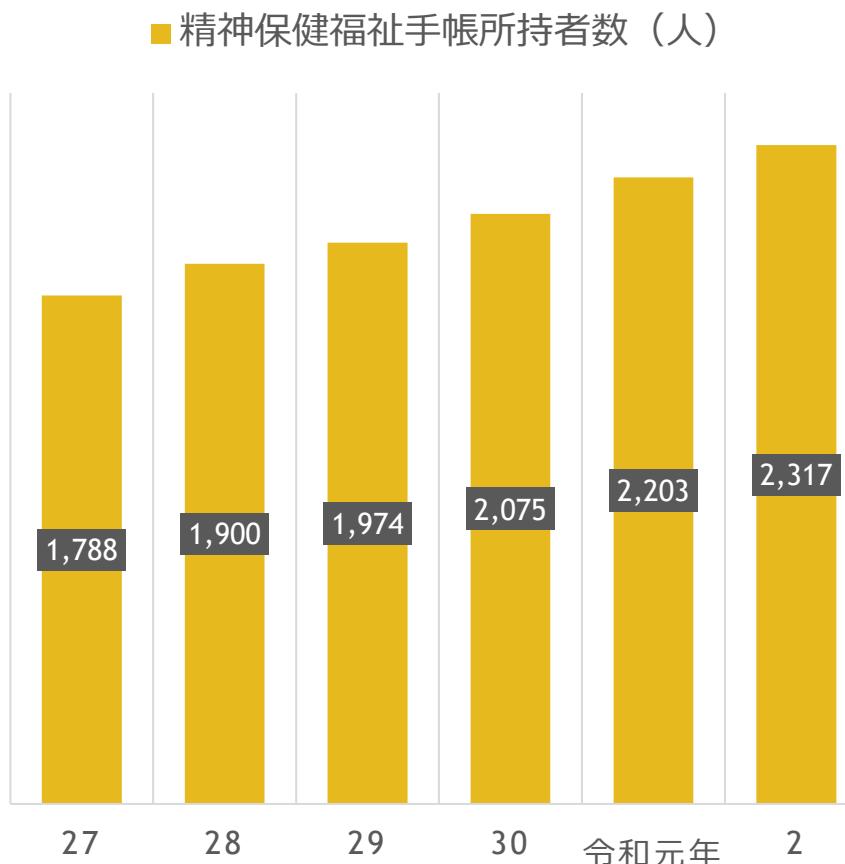
指定難病（333疾病）で一定の認定基準を満たしている方に対して、その治療に掛かる医療費の一部助成を行う。

左京区における健康課題（障害保健福祉）

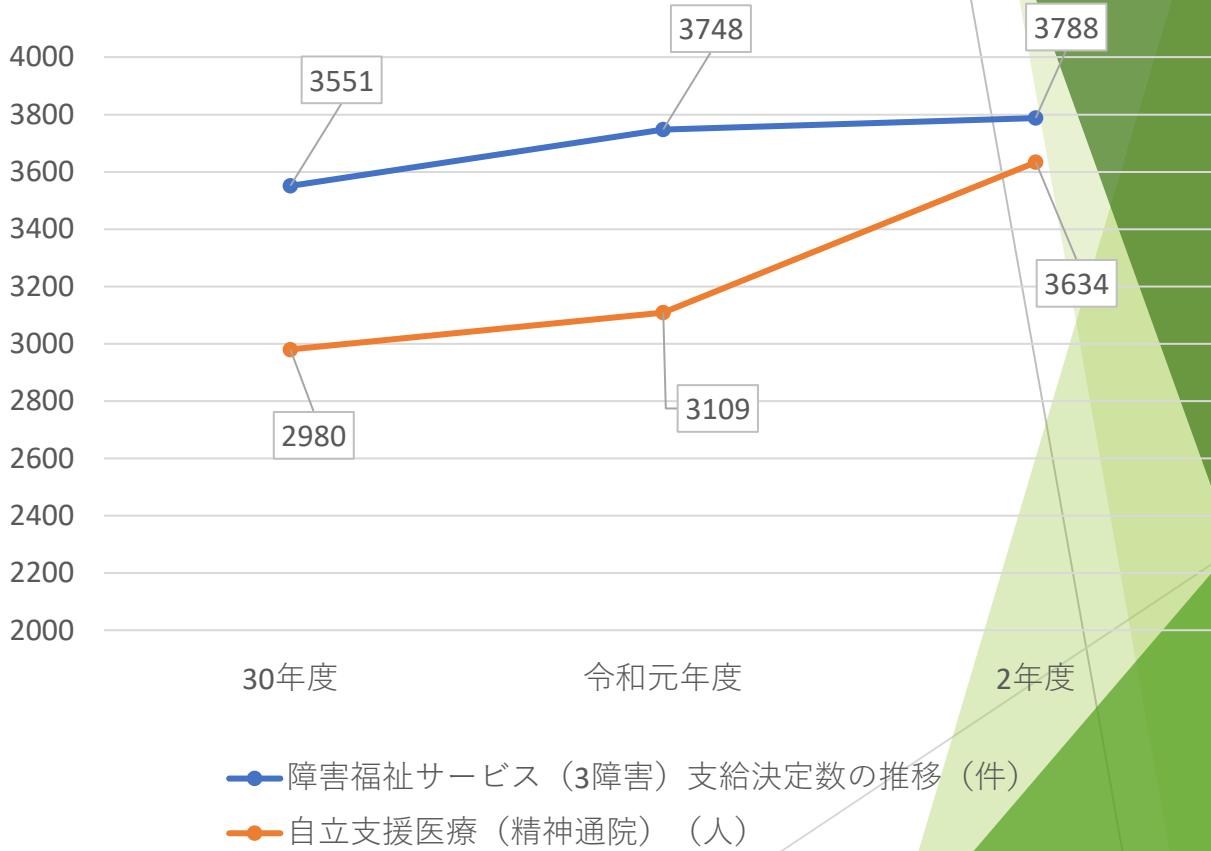
- ・ 日本で始めて精神科医療が発祥したとされる病院や、歴史的に精神科療養の地となった地域（洛北）があり、古くから精神科医療が発展していた。区内に精神科の通院や入院できる病院は6箇所あり市内で一番多く、また日中の活動を支援する医療・福祉関係事業所も多く、心の病のある人に関する社会資源が豊かである。
 - ・ 自立支援医療（精神通院）利用者、精神障害者保健福祉手帳所持者は増加傾向で、精神保健福祉手帳の等級の1級所持者の割合が全区役所・支所中1位である。（グラフ参照）
 - ・ 障害福祉サービスの利用者は増加しており（グラフ参照）、豊かな支援環境の中で、必要な制度やサービスにつながる個別支援のための連携に取り組んでいると思われる。
- 北部障害者地域生活自立支援協議会や左京こころのふれあいネットワーク活動など、保健協議会・民生児童委員会等の地域役員や関係機関との連携に重きを置き、イベント・研修会の開催等において、普及啓発や顔の見える関係づくりを目指し、切れ目のない支援につなげていく。

グラフ（精神保健福祉関連）

精神保健福祉手帳所持者数の 経年推移



障害福祉サービスと自立支援医療 (精神通院)



左京こころのふれあいネットワーク

- ▶ 「こころの病がある人も、そうでない人も、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らしたい」そのような思いを理念として、医療機関や福祉サービス事業所、ボランティアグループ、家族会、行政、教育、公的機関など幅広い団体により構成されたネットワークです。
- ▶ 令和2年度は、例年開催している「心ときめき芸術祭」等が休止となつたため、「心ときめき作品祭」として、作品展示と製品販売を行いました。



子どもはぐくみ室の業務

母子保健

- ▶ 母子健康手帳の交付
- ▶ こんにちはプレママ事業

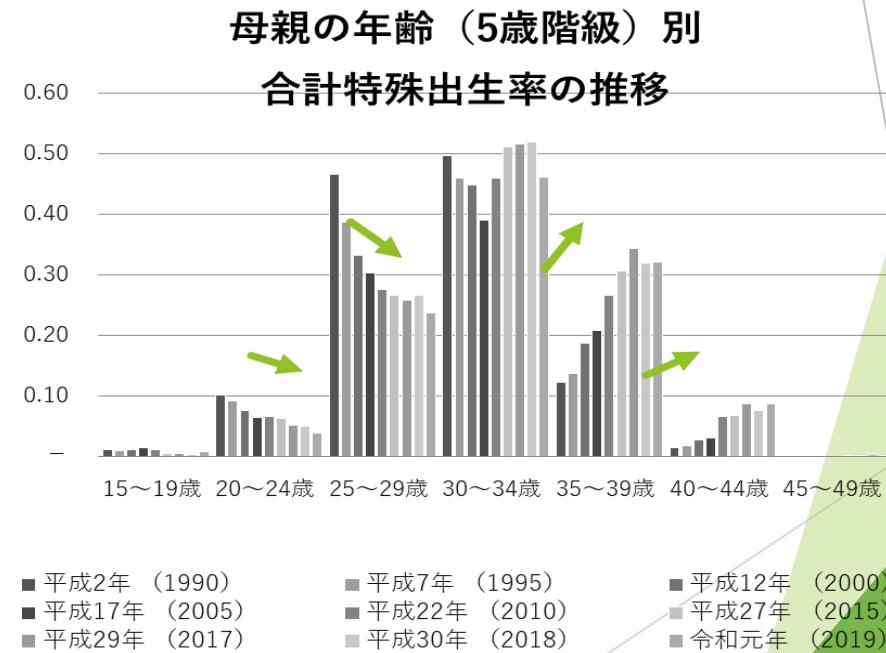
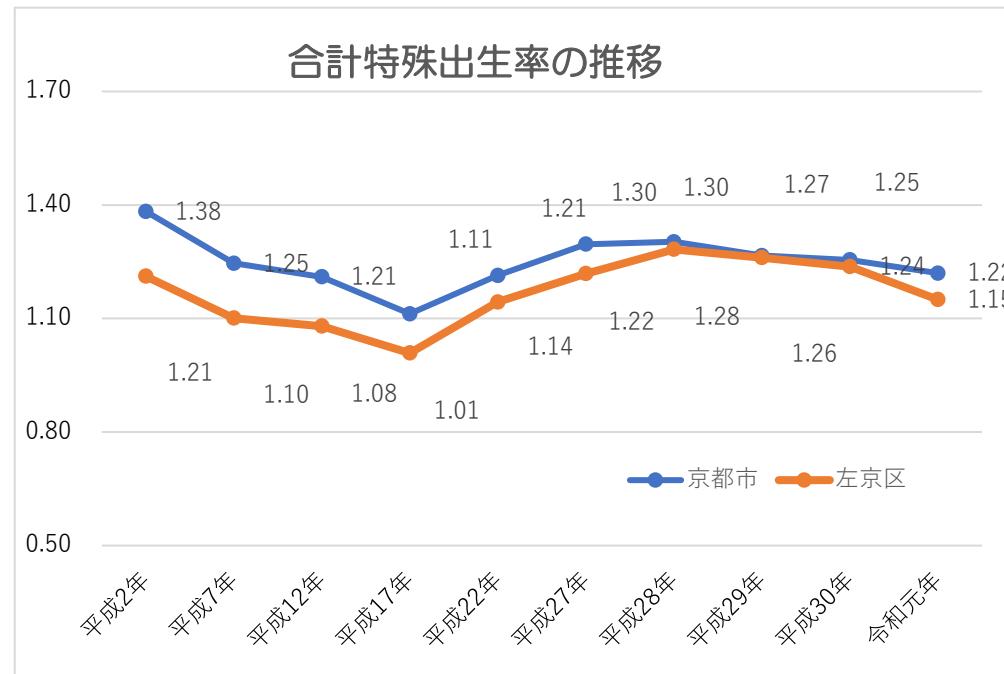
初妊婦や双児等継続した支援が必要な妊婦に対する支援
- ▶ 新生児等訪問指導（こんにちは赤ちゃん事業）
- ▶ 乳幼児健康診査（4か月児, 8か月児, 1歳6か月, 3歳3箇月）
- ▶ 訪問指導

育児支援、母子保健に関する家庭訪問指導
- ▶ 親子の健康づくり講座（プレママ・パパ教室含む）
- ▶ 親子すこやか教室
- ▶ 予防接種



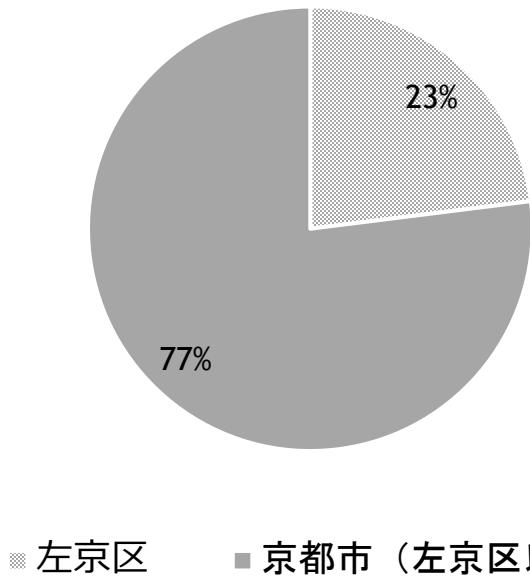
左京区における健康課題（母子保健）

- 合計特殊出生率は横ばい。40代は微増傾向にある。
- 出産年齢は他区と比較して若干年齢が上がってきている。
- 外国籍の方が妊娠・出産・育児をすることが他区に比べて多い。（全市全体では、母子手帳交付数の1.29%が外国籍の方であるが、左京区は、3%が外国籍の方である。）

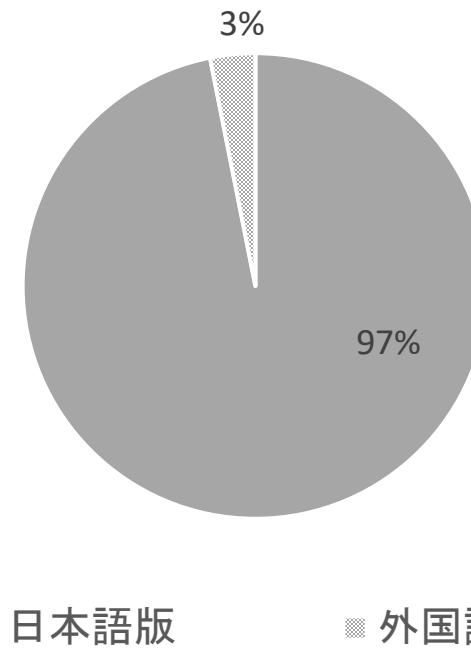


グラフ（母子保健関連）

外国語版母子手帳交付割合
(令和2年度)



左京区母子手帳発行内訳
(令和2年度)



さきょうほっこり ベビーフェスタ☆

- ▶ 京都市交響楽団の演奏を聴きながら、地域で子育てを支える人たちとつながり、妊娠中の方や赤ちゃんと保護者の方と一緒にほっこりできるひとときを過ごしていただけるイベント。
- ▶ 各地域の民生児童委員による子育てサロンの紹介や、歯科衛生士、保健師、管理栄養士などの専門職による相談コーナーやお母さんの健康チェックブースも設けている。
(令和2年度は新型コロナの影響で開催中止。)

